ITO-10000 専用 OBD2 バックアップソケットセット

部番
L1638

＜お客様へ＞
・ご使用前、安全に正しくお使いいただく為に必ず「取扱・取付説明書」をよくお読みになってください。
・お読みになられた後も、必ず必要になるときがありますので、「取扱・取付説明書」は大切に保管してください。

◎この用品は、車両の OBD へ 12V を入れる事で、車両のバッテリーを交換した際に、車両のメモリーを保護してくれる商品です。

警　告

車両側のＯＢＤへ 12V を入力する事ができるかの確認は、必ず車両メーカーに問い合わせを行ってください。問い合わせを行わずに、入力したことで起こる破損、損傷、損失、生命の危機に関しての保障は一切弊社からは受ける事が出来ないので、ご了承ください。

構　成　品

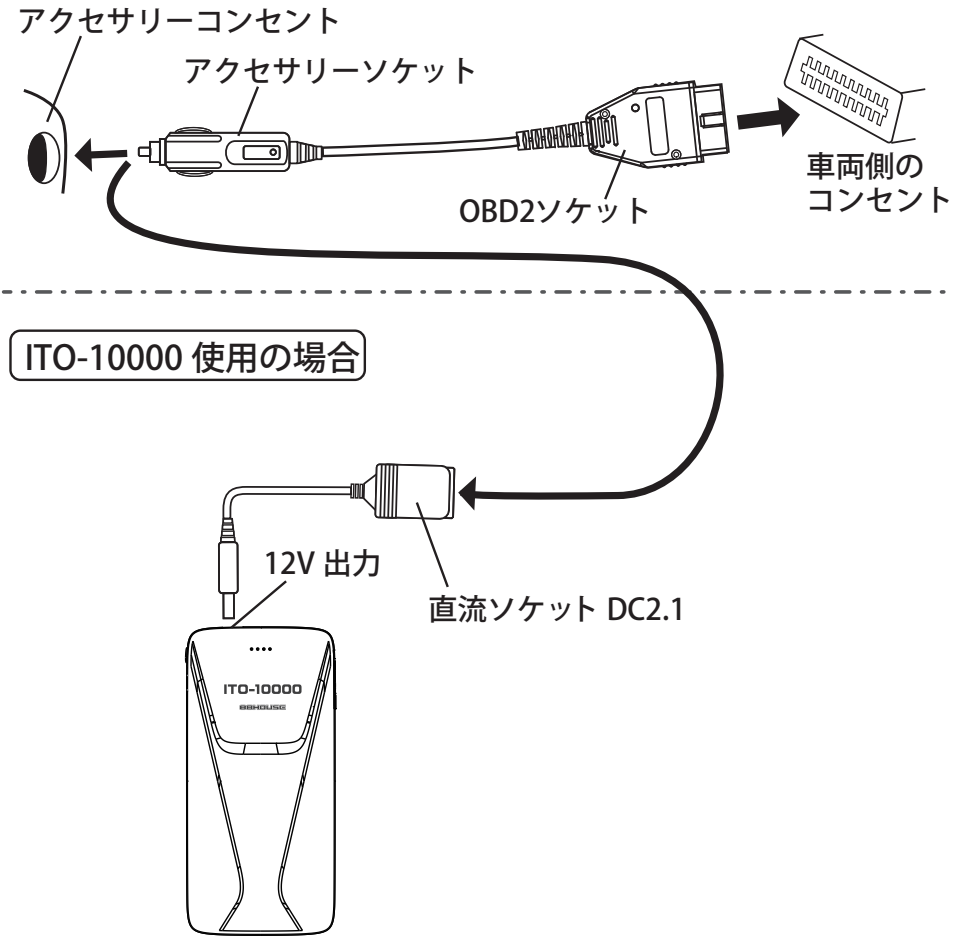
・OBD バックアップソケット……× 1
・直流ソケット DC2.1……× 1

取　り　扱　い　方　法

1) ITO-10000 に使用するときは同梱の直流ソケット DC2.1 を本体に接続しておいてください。
2) 車両のイグニッションが OFF になっている事を確認してください。
3) OBD2 バックアップアップソケットを車両の OBD コンセントへ接続しソケット部の LED(赤) が点灯すればおおむねバッテリーの交換ができる状態です。
4) 一旦接続した OBD2 バックアップソケットを車両からはずしてください。
5) OBD2 ソケットのアクセサリーソケットを直流ソケット DC2.1 または電源のアクセサリーコンセントに接続してください。
6) OBD2 バックアップソケットのアクセサリーソケット部の LED(緑) と OBD2 ソケット部の LED(赤) の 2 か所が点灯していれば電源が流れている状態です。
7) 電源に接続したまま OBD2 バックアップアップソケット部を車両の OBD2 コンセントへ接続してください。

8) 車両のバッテリーを外しても、LED が点灯していることを確認してください。LED2 か所のうちどれか 1 つでも消灯した場合はメモリーが消えている可能性があります。

アクセサリーコンセント使用の場合



LED の発光状態について

◎下記は LED の発光状態の参考です。

・12V ソケット部のみを電源のアクセサリーコンセントに接続→ 12V ソケット部の LED(緑) と OBD2 ソケット部の LED(赤) の 2 か所が点灯
・OBD2 ソケット部のみを車両の OBD2 に接続→ OBD2 ソケット部の LED(赤) のみが点灯
・12V ソケット部と OBD2 ソケット部の両方を接続→すべての LED2 か所が点灯 (この時 LED が 1 つでも消灯しているときはバッテリーの交換を行えません)

販売元 **株式会社ハチハチハウス**
〒 352-0017　埼玉県新座市菅沢 2-10-12